

No. 118 外来における在宅療養支援能力向上のための研修【新規】

JNA e ラーニング活用

- 日 時 e ラーニング： 支払確認後メール連絡～令和 6 年 2 月 8 日（木）
 事前課題： e ラーニング終了後各自で事前課題に取り組む
 対面研修： 令和 6 年 2 月 16 日（金） 13:30 ～ 16:15
- 会場 対面研修：千葉県看護会館 千葉市美浜区新港 249-4
- 目的 1. 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
 2. 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。
- 学習目標 1. 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
 2. 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
 3. 1 及び 2 を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。
- 参加対象 1. 病院・診療所等の外来に勤務しているまたは勤務予定のある看護職（常勤や非常勤等の雇用形態、また、短時間勤務等の勤務形態は問わない。救急外来勤務者も含む）
 2. 本研修の受講前に下記、日本看護協会 e ラーニングを終了している者
 ※e ラーニング終了の確認ができない場合、受講できませんのでご注意ください。

※e-ラーニング研修 200 分と事前課題・演習 150 分を全て修了した者に対し、研修修了証を発行する

「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」e ラーニング (200 分)

内容	講師	時間
1. 外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	公益社団法人日本看護協会 吉川 久美子	40 分
2. 外来における在宅療養支援	慶応義塾大学看護医療学部 永田 智子	40 分
3. 在宅療養を支える地域連携とネットワーク	常磐大学看護学部 吉田 千文	40 分
4. 在宅療養患者（外来患者）の意思決定支援	東京女子医科大学病院 藤井 淳子	40 分
5. 在宅療養患者（外来患者）を支える社会資源	聖カタリナ病院 松本 明子	40 分

事前課題

1. 内容

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記内容について、各自がまとめる。

1) 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について

2) 外来における療養支援について自身が感じている課題

2. manaable に添付している書式をダウンロードして、記載する。

3. 事前課題は研修当日持参する。

※eラーニング受講証明書を対面研修当日必ず持参してください。

令和6年2月16日 受付 13:15～

時間	内 容	方法	講 師
13:30	オリエンテーション	講義	千葉県看護協会 担当者 調整中
13:35	千葉県における医療・看護を取り巻く状況等		
13:55	導入	演習	千葉県看護協会 担当者
14:05	グループディスカッションによる事例検討 議論のポイント		
	① 事例において必要な在宅療養支援は何か		
	② 在宅療養支援強化のために外来看護職として自らが取り組む必要があることは何か		
	③ 在宅療養支援強化のために組織が取り組む必要があることは何か		
			ファシリテーター 大秋 美恵 津田沼中央総合病院 駒井 里枝 津田沼中央総合病院 中泉 由紀 津田沼中央総合病院 他ファシリテーター 2名調整中
15:35	全体共有 発表・質疑応答・意見交換		
16:00	事前課題についてのまとめ		
16:15	研修終了		千葉県看護協会 担当者

※講義の進行状況により時間は変更となる場合があります。